

## 補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		長岡京市みどりのサポーター制度促進事業補助金							課内No.	3	
事務事業名		みどりのサポーター制度促進				担当所属名	公園緑地課				
②事業期間		始期	平成23	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		②事業補助				④性質【選択】		①市単独			
⑤予算科目		会計	01	款	08	項	04	目	04	細目	540
⑥根拠法令・規程		(公財)長岡京市緑の協会補助金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		-						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		みどりのサポーターによる自発的な活動を支援していくため、より市民に近い組織の強化が求められました。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		事業主体を(公財)長岡京市緑の協会としたことで、財団のもつ専門性・柔軟性・機動性を発揮することが可能となり、より市民ニーズに合った公共サービスをより効率的に提供する基盤整理ができました。									
⑩補助金の目的		緑化思想の普及啓発を行い、市民と行政がひとつになって都市の緑化を推進し、長岡京市における快適な都市環境づくりに寄与するために、(公財)長岡京市緑の協会が実施する長岡京市みどりのサポーター制度促進事業の一部を補助するものです。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	(公財)長岡京市緑の協会									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	団体が定める事業実施要綱に基づき、みどりのサポーターを支援する事業として、傷害保険の負担、花苗の提供、清掃具等の貸出・支給、安全指導、廃棄ゴミの収集、緑化活動の助言などを行います。									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		市民と行政の中間組織である緑の協会が、市民や事業者と共に緑化・美化の取り組みを進めることで、市街地にうるおいのある空間を創出し、更に、市民や企業の参加を促進するとともに、市民の緑化意識・美化意識の高揚が図れます。									
金額(円)／年度		25年度決算		26年度決算		27年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	-		-		-					
	府補助金	-		-		-					
	その他補助金	-		-		-					
	一般財源	9,515,000		9,950,000		10,330,000					
	合計	9,515,000		9,950,000		10,330,000					
	前年度比(今年度－前年度)	-		435,000		380,000					
業⑭の団 財体 務又 内は 容事	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	9,536,755		10,058,288		10,959,000					
	繰越金	-		-		-					
	市の補助金の割合	99.8		98.9		94.3					

補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		長岡京市みどりのサポーター制度促進事業 補助金		担当所属名(再掲)		公園緑地課		課内No.		3	
視点		点検チェックポイント				チェック・記述欄					
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない										
	市において目的が類似した補助金がない				はい						
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要性がある										
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある										
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている				いいえ						
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である										
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある				はい	事業補助金がなければ、団体の事業の運営ができません。					
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる				いいえ						
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる				はい	都市緑化の推進					
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。				はい	市民活動は、他者に好意を与えることができます。					
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である										
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある										
市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている											
⑰ 公正 公平 性	わかりやすい情報発信を行っている				はい	ホームページなどでPRしています。					
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)										
	公募制度を導入している										
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している										
⑱ 効率 性	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)										
	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した										
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)										
	具体的に説明できる費用対効果がある										
補助金としての期限、終期を設定している											
⑲近隣市町の状況【選択】		本市のみ実施		他市町の事例		道路や公園、河川など公共施設別にボランティア制度を実施している自治体はありますが、市内公共施設をひとつの制度にまとめ、さらに中間組織として団体に実施させる方法をとっている自治体はありません。					
⑳26年度の取り組み(昨年度)		管理作業などの機会に制度の紹介を行い、制度のPRと団体数の増加に取り組みました。									
21)27年度の取り組み(今年度)		みどりのサポーター制度を継続し発展させるための方法などについて、みどりのサポーター自らが話し合った結果を反映させていく取り組みを緑の協会と共に実施していきます。									
22)28年度の取り組み(来年度)		みどりのサポーター制度を継続し発展させるための方法などについて、みどりのサポーター自らが話し合った結果を反映させていく取り組みを緑の協会と共に実施していきます。									
23)今後の方向性【選択】		拡大		今後の取り組み		みどりのサポーターがもっと自発的に活動しやすいような制度となるよう、子どもや学生が参加しやすいような方法を検討します。					
24)その他特記事項(留意事項など)		-									